



在外和歌山県人会次世代リーダーズの集い

和歌山から 日本の心 世界へ

～和歌山でルーツを巡る旅～

7月27日から8月1日まで「在外和歌山県人会次世代リーダーズの集い」が和歌山県で開催されました。この事業は和歌山県から海外に移住した人たちの子孫である県人会の青少年と県内の高校生が集まり、移民史について学び、交流するイベントを通して、**将来の和歌山県人会の若手リーダーの育成と県内青少年の国際交流に対する意欲向上を目的**としています。アメリカ、アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、パラグアイ、ブラジル、ペルー、メキシコの8カ国11県人会から13名の青少年が海を渡って来県し、近大付属、桐蔭、橋本、日高の4校の高校生5名と共に、スタディーツアーなどの全日程を過ごしました。

本校からは**総合科学科2年寺井敦基くんが県内高校生の1人として参加**しました。英語部部長を務める寺井くんは英語で積極的に話しかけ、ファッションや音楽の話題で場を盛り上げるなど、コミュニケーションの要となり、**和歌山県の国際交流に大きく貢献**しました。

和歌山県は全国で6番目に多くの移民を輩出する全国有数の移民県です。私たちの先人は**進取の気性を持ち、海外に渡り、新境地を切り開いて**きました。しかしながら、現在、各国にある和歌山県人会では組織の衰退と後継者の減少を危惧しています。初開催となったこのイベントの締めくくりでは、次世代リーダーズワークショップを行い、和歌山県と県人会の交流の活性化について対話し、プレゼンテーションを行いました。途中の日程では津波警報発令の影響で、やむを得ず予定を変更する場面もありましたが、参加者たちからは笑顔でコミュニケーションを楽しんでいる様子が見られました。今回、このプログラムに参加した寺井くんにとっても、忘れられない貴重な経験となったようです。



県人会次世代リーダーズの集いに参加して

～参加した生徒の声～

将来海外に住んで働きたいと思っているので、このプログラムに応募しましたが、実際に参加してみて、和歌山県内でも対面で国際交流できるのが素晴らしいと思いました。

海外の県人会からの参加者の中には年齢の近い方が多く、共通の話題もたくさんありました。ファッションやポップカルチャーについて英語で話しましたが、日本の漫画などについては自分よりも詳しくて驚きました。また、自分が好きな日本のファッションブランドが、今海外でも人気があることがわかり、すごくうれしかったです。何度も何度も話しかけると、より親密な関係を作ることができます。迷惑がられないので、是非、みなさんも国際交流イベントに参加したときは、共通の趣味や日本で流行っている食べ物などを紹介して話のタネを作りに行ってください。自己肯定感をもって、積極的に話しかけた方が国際交流をより充実させることができます。

英語のリスニング力とスピーキング力を磨くにはこのプログラムは絶好の機会でした。今回の参加をきっかけに、英語の聞き取りをもっと磨く必要があると感じました。また、地元のことをもっと知りたい気持ちが強くなりました。将来に生かせるような貴重な経験になりました。

2年6組 寺井 敦基

